ルートごとの見直し案

青柳ルートのみ平成 27 年 2 月を目標に暫定見直しを実施する。泉ルート、矢川・東ルート的大幅なルート変更を伴う見直しは沿線アンケート後に実施する。

■ 1 青柳ルート

(1) 平成 27 年 2 月実施

- ・青柳地域は公共交通サービスがコミュニティワゴンしかないこと、月に 1～2 回程度乗り残しが発生しているため朝方の矢川駅発着 30 分毎の運行を午前中いっぱいまで延長する。
- ・停留所での路線バスとの重複を避けるため、⑯矢川駅停留所をロータリー内に移設する。
- ・利用状況を踏まえ、市役所、福祉会館などが立地する富士見台地域へのサービス水準を調整する。
- ・医療施設や薬局があるスーパーさえき富士見台店西側付近に停留所を新設する（⑥国立郵便局～⑦芸小・体育館の間）。

なお、沿線アンケート結果等により更なる見直しが必要になった場合には、再度見直しを検討する。

■ 2 泉ルート

(1) 平成 27 年 2 月実施（青柳ルートに準じた内容）

- ・停留所での路線バスとの重複を避けるため、⑯矢川駅停留所をロータリー内に移設する。
- ・医療施設や薬局があるスーパーさえき富士見台店西側付近に停留所を新設する（⑥国立郵便局～⑦芸小・体育館の間）。

(2) 平成 27 年度的大幅見直しにて実施（素案）

今後実施する沿線アンケートの結果等も踏まえながら検討を進める。

- ・沿線地域の人口密度が低く、4 月から半年間での矢川駅周辺アクセス（矢川駅停留所降車数）への利用も青柳ルートの半数程度となっていることから、矢川駅から南区公会堂（フレスポ国立南）周辺への利用者の増加を見込む方策が必要である。
- ・「南区公会堂」停留所から南区公会堂へアクセスする際の交通安全に配慮が必要であり、フレスポ国立南敷地内に乗り入れる。

- ・高齢化率の高い都営国立泉団地周辺から南区公会堂（フレスポ国立南）周辺への利用を可能とするため、休止中の「くにっこ」バス泉コースの「南市民プラザ」「泉南公園」停留所の復活、およびそこを経由するために必要な「泉クリニック」に停留所を新設する。
- ・系統設定の工夫により、国立泉団地⇔矢川駅（国立駅）に走っている路線バスとの棲み分けを図る。
- ・利用状況を踏まえながら、市役所、福祉会館などが立地する富士見台地域へのサービス水準を調整する。

■3 矢川・東ルート

（1）平成 27 年 2 月実施

- ・東地域での停留所を追加する
 - a)府中市コミュニティバス、京王バスの「北山町四丁目」停留所に停車（府中市、京王バス了承済。沿道の方と調整中）
 - b)⑩大学寮南と⑪第三小学校の間、一橋大学ラグビー場の南側の道路に一か所停留所の追加を検討中（沿道の方と調整中）。

（2）平成 27 年度の大幅見直しにて実施（素案）

今後実施する沿線アンケートの結果等も踏まえながら検討を進める。

- ・高齢者の外出支援のため、谷保駅周辺商店街へのアクセスを実現する。さくら通りと谷保ダイヤ街の間は富士見台第一団地内を通過するとともに停留所を新設する（第一団地内道路の使用については UR と調整が必要）。
- ・総合医療センター前への乗り入れはしないが、正面玄関へのアクセスをもう少し向上させられないか？
- ・団地通りでの路線バスとの重複を必要最小限とする。